

下水道 GX の取り組みについて

1. はじめに

恵庭市は、令和4年（2022年）6月22日、脱炭素社会の実現に向けて、2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことを宣言しました。

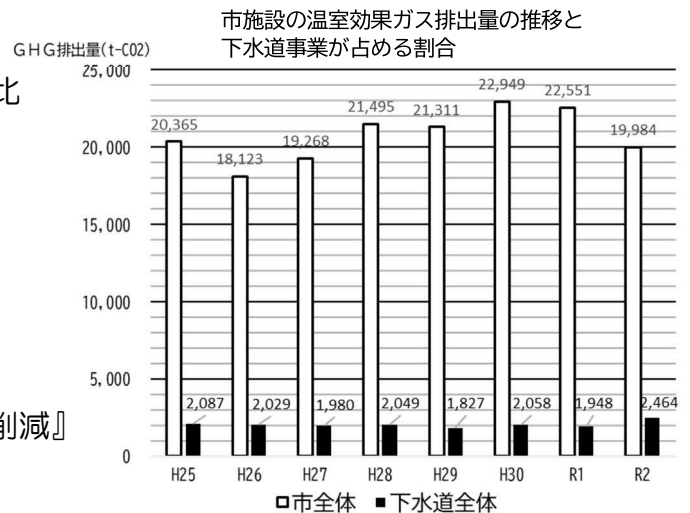
下水道事業においても温室効果ガス排出量の削減に向け積極的に取り組むため、下水道 GX の取り組みについて検討するものです。

GX(グリーン転換) ~ 温室効果ガスの排出原因となっている化石燃料などから、太陽光発電などの再生可能なエネルギーに転換して、経済社会システム全体の変革を目指すこと

2. 現状と課題

- 第5次恵庭市地球温暖化対策実行計画
温室効果ガス排出量を2013（H25）年度比
2024年度：約26%削減
（国の目標：2030年度：50%削減）
- 下水道事業における温室効果ガス排出量は、市役所全体の約10%を占めている。

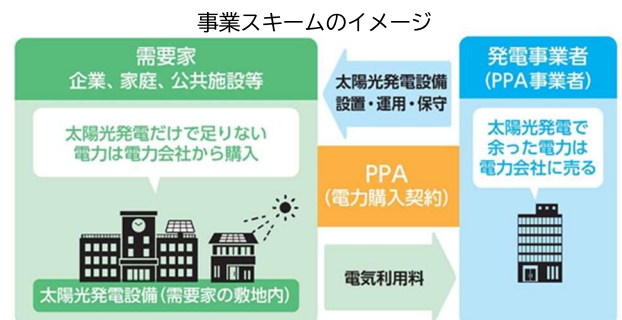
このことから、下水道事業として、『再生エネルギー等による化石由来電力量の削減』を進めていく必要がある。



3. 事業スキーム(案)

温室効果ガス排出量の削減に向けて

- 下水道施設内の空きスペース等を活用し、太陽光発電・水力発電等の施設を設置
- 発電施設等は、民間事業者の費用で設置、運営
- 発生した電力は下水道施設等で購入し活用



4. スケジュール(案)

R4年度中：下水道施設を活用した発電事業等の導入可能性調査を実施。

R5年度以降：導入の可否を検討。導入が可能な場合、事業者を選定（プロポーザル方式）し、事業着手を目指す。

恵庭下水終末処理場 空きスペース状況

